

アルゼンチン農協連合会 A C A と取引協定延長

トウモロコシなど飼料原料を引き続き安定調達

畜産生産部

全農は昨年12月中旬にアルゼンチン農協連合会 A C A と、これまでの協定を延長する3年間の農協間取引基本協定を締結しました。

A C A は1922年設立で、アルゼンチン全土で140を超える地方農協を総括、約5万人の農家組合員を擁する同国最大の農協組織です。全農は1964年から A C A との農協間取引を開始し、トウモロコシやマイロを輸入しています。

今後も飼料原料の産地多元化と安定調達に努めていきます。



協定調印式に参加した A C A のスマール会長(左)と全農の齊藤良樹常務

徳島県 J A 農機協同事業体が発足

J A と全農の経営資源を一体的に活用

徳島県本部

徳島県内の6 J A (J A 徳島市、 J A 東とくしま、 J A アグリあなん、 J A かいふ、 J A 板野郡、 J A 阿波みよし)と徳島県本部は、「徳島県 J A 農機協同事業体」を1月1日に設立しました。

この事業体は、 J A 農機事業のサービス力向上や購買力の強化、業務の標準化を目指して、 J A と全農の経営資源を一体的に活用し、効率的な体制づくりを行います。

また、今後段階的に県内での広域展開を進め、県内 J A グループ農機事業の更なる改革に取り組みます。



調印式に出席した6JAの組合長と全農県本部長(2019年12月16日、徳島市内で)

「多収甲子園」を初めて開催

業務用向け契約栽培米の生産技術向上を目指す

兵庫県本部

兵庫県本部は令和元年産で多収を実現した生産者を表彰する「多収甲子園」の表彰式を昨年12月11日、兵庫県農業会館で開催しました。

「多収甲子園」は、業務用向け契約栽培米として県本部が提案する多収性品種と多収が見込める品種「どんとこい」の生産技術の向上と作付け拡大を目的とし、初めて開催しました。

多収性品種部門と、どんとこい部門でそれぞれ「多収穫の部」、「基準単収からの増収の部」で表彰を行いました。また、特別賞として地元 J A に最も多く出荷した生産者1人を表彰しました。



「多収甲子園」で受賞した生産者の皆さん(前列)

News!

新「全農トマトランド」がオープン

神奈川県平塚市に新築・移転、初のオランダ型高軒高温室

耕種総合対策部



新「全農トマトランド」の開場式に出席した湘南農業協同組合の宮崎組合長(中央右)、全農の久保省三常務ほか関係者

全農は平成28年に千葉県柏市に全農トマトランドを設置し、トマト生産に関する試験研究、商品開発、人材育成を行ってきましたが、このたび平塚市に新築・移転しました。全農が所有する初のオランダ型高軒高温室^{こうのきだか}で、高度な環境制御が可能です。
当日は、湘南農業協同組合の宮崎一美組合長をはじめ関係者にご臨席いただき、全農トマトランドの発展を祈念しました。

耕種総合対策部は昨年12月13日、神奈川県平塚市で「トマト栽培試験の拠点「全農トマトランド」の開場式を行いました。

News!

食品ロスをテーマにしたマルシェを実施

都内マンションで直売所から直送した農産物を販売

営業開発部・福島県本部



福島県の直売所から運んだ果物などを販売したマルシェ

3回目の開催となる今回は、福島県本部の直売所「愛情館」から直売所の車で運んで、職員が直接PRしながら販売しました。リンゴの「はるか」と「ふじ」を食べ比べてもらいながら、合計1000個以上販売しました。
マンションの住民からは「ぜひ定期的に開催してほしい」と好評でした。

営業開発部と福島県本部は昨年12月14日、東京都内のマンション2カ所で、バリュードライバーズ^(株)三井不動産レジデンシャル^(株)と協働して、食品ロスをテーマにしたマルシェを実施しました。

News!

新たな農業用センサー「Agri Palette」を予約販売

中小規模の生産者でも導入しやすい低価格

経営企画部



土壌(水分量・温度・塩類濃度・Ph)と空気(気温・湿度・CO₂濃度)と日照量のデータを取得できる「Agri Palette」のセンサー

Agri Paletteは、土壌水分量、気温、日照量などをセンサーで収集し送信するシステムで、中小規模の生産者でも導入しやすい低価格モデルです。
予約販売は、新製品をテスト的に発売し顧客の反応を確認する「クラウドファンディング」という仕組みで行っています。

購入はこちらから



J Aグループのイノベーションの拠点「Agventure Lab」^{アグベンチャーラボ}が開発に協力した、株式会社Momo^{モモ}による農業用センサーシステム「Agri Palette」^{アグリパレット}が予約販売中です(2月末まで)。

岡山・京都で「酪農の夢」出張授業

酪農家が学生に実体験や酪農への想い語る

酪農部



中国四国酪農大学校で講演した酪農家の長崎清子さん(左、滋賀県)と、北出愛さん(北海道)



京都府立農業高校で講演した酪農家の柴田瑞穂さん(左、秋田県)と、小島範子さん(京都府、同校OG)

酪農の次世代育成を目的とし、各校40人程度が参加しました。訪れた酪農家から酪農への想いややりがい語られ、学生たちからも積極的に質問が飛び交いました。

酪農部は日本コカ・コーラ(株)と連携し、昨年11月に中国四国酪農大(岡山)、12月に京都府立農業高校で、第16・17回目の5by20「酪農の夢」出張授業を行いました。

出向く推進スキルアップ研修会を開催

担い手農家への対応力を強化

東北営農資材事業所

課題ごとに行った分科会で発表する職員



研修会には、東北6県本部の職員41人が参加しました。県本部ごとの現状分析、福島県本部から優良事例報告、課題ごとの分科会などを行いました。また、(株)コンパスの鈴木進介氏を講師に招き、担い手農家への推進時に必要となる実践的な会話を養いました。

東北営農資材事業所は昨年12月5、6日、JAとともに担い手農家へ出向く体制を強化するため、「出向く推進スキルアップ研修会」を開きました。

第4回葬儀受付コンテスト全国大会を開催

最優秀賞にJA鳥取いなばの児島明菜さん

くらし支援事業部



コンテストで喪主役(手前)から聞き取りするJA鳥取いなばの児島さん

最優秀賞は、JA鳥取いなばの児島明菜さんが受賞しました。「喪主に対し、いたわりの言葉掛けや、状況に応じた優しい言葉遣いで、分かりやすい説明だった」ことなどが評価されました。優秀賞にはJAいしのまき(宮城県)の渡邊哲也さん、優良賞にはJAぎふ総合サービス(株)の早川誠さん、(株)JAセレモニーさかの牛島翔太郎さんが選ばれました。

県JA・経済連と全農などで行くJA葬祭事業全国協議会は昨年12月6日、葬儀受付コンテスト全国大会を東京都内で開きました。

News!

速水もこみちさん監修メニューを提供

1月15日～27日、銀座三越みのる食堂で数量限定

フードマーケット事業部



テレビ番組の料理コーナーで人気を集めた速水もこみちさん

などを行って
います。ぜひ、
ご来店をお待
ちしています。

Webサイトは
こちら



メニューは、フードプレートに
デザートとドリンクが付いた9品
で、ランチ2200円、ディナー
2500円です(税込み)。

その他、同企画展(最終日6時終
了)では、速水もこみちさんが考案
したキッチンの展示や、セレクトア
イテムの販売

全農が運営する「みのる食堂」(東
京・銀座)は、1月15日～27日の間、
同店が入る銀座三越の「速水もこ
みち Food Trip トリップ
展」の一環として、速水もこみちさ
んが監修したメニューを数量限定
で提供します。

News!

障がい者福祉施設で製造のパン販売

県本部の直売所で農福連携の取り組み

山梨県本部

パンを作る通所者ら



この連携は、県が一昨年設置し
た「山梨県農福連携推進センター」
の協力で実現しました。
ホウレンソウパン、じゃがマヨ
パンなど「たべるJAんやまなし」
で販売している野菜を使用した
コラボ商品で、
1個150円前
後と求めやすい
価格となっています。



山梨県本部が運営する農産物
直売所「たべるJAんやまなし」
は、昨年12月から、甲府市内の障
がい者福祉施設「エスペランサ」
が製造するパンの販売を始めま
した。

News!

家族や大切な人への思いを詩にして

「おかあさんの詩コンクール」表彰式を開催

長崎県本部



受賞した児童・生徒の皆さん

受賞作品は、
県本部HPで
順次公開して
いきます。

受賞作品は
こちら



子どもが家族や大切な人への思
いを詩にした応募作品2198編
の中から、最優秀・JA全農ながさ
き賞、全農パールライス賞などの入
賞者20人と学校賞2校を表彰しま
した。副賞には長崎和牛や長崎県産
米など、県産農産物を贈りました。

長崎県本部はNCC長崎文化放
送との共催で昨年12月1日、「第26
回おかあさんの詩コンクール」の表
彰式を開きました。

北海道 帯広市で「酪農女性サミット2019」開催

現在の実行委員会開催は最終回 400人の酪農女性らが語り合い交流深める

酪農部は一昨年に続き日本コカ・コーラ(株)と連携し、昨年12月3、4日、北海道帯広市で「酪農女性サミット2019」(主催・酪農部)を共催しました。

〔酪農部〕



全農ブースで事業の取り組みをアピール



あいさつする酪農部の深松聖也次長

「酪農女性サミット」は酪農家の女性同士が互いに学び語り合い、女性も楽しく仕事ができる酪農を目指そうと企画され、2017年に札幌市で第1回が開催されました。3回目となる今回は帯広市で開催。北海道はもちろん本州各地から女性酪農家や酪農関係者ら約400人が集う盛大な会となりました。

2日間にわたり酪農経営や技術に関する講演が行われた他、トークセッション、ワークショップが行われ、一人一人が行動を起こすことの大切さや、今後のあるべき姿などを話し合いながら参加者同士の交流を深めました。

全農からはホクレンくみあい飼料や全農畜産サービスとも連携して企業ブースを出展。営業開発部から全農の商品(Amazon限定の玄米パックご飯、ニッポンエールのドライフルーツゲミ、ビーツ粉末飲料、農協たまごの展示、試食を行った他、酪農部からは農協牛乳の無料配布を行うなど全農の事業の取り組みをアピール、たくさんの方の参加者に興味を持っていただきました。

また、懇親会では、酪農部から十勝蔵王千葉の工房などの国産チーズ17種、中沢乳業のパーティシエ畑田洋志さん



参加者が和気あいあいとワークショップ

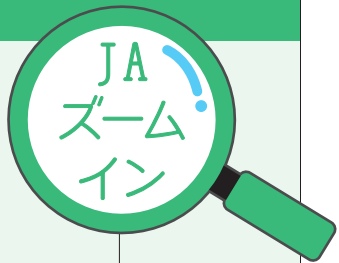
による国産乳製品を使ったスイーツを提供する「チーズ・スイーツ☆シヤワー」を企画。盛り付けにはニッポンエールのドライフルーツも使用し、華やかな盛り上がりを見せました。

現在の実行委員会によるサミット開催は今回でファイナルとなりますが、実行委員長である(株)マドリンの砂子田円佳代表からは「これで終わりではなく、参加頂いた皆さまが各地域でプチサミットを開き、地域ごとに交流を深めていってほしい」と将来に向けた行動の呼び掛けがありました。

酪農部は女性酪農家が一層活躍できるような、これからも交流をサポートしていきます。



中沢乳業のパーティシエ畑田さんが国産乳製品を使ったスイーツを紹介



合併のスケールメリット生かし

全国に名だたるブランドをさらに

JA大津松茂は平成27年、JA大津とJA松茂が合併して誕生しました。四国の玄関、鳴門市・板野郡松茂町一円を管内としています。管内は全国に名だたるブランド産地で、砂地で栽培されるカンショ「なると金時」をはじめ、全国一の品質・全

国2位の生産量を誇るレンコン、8月には大阪中央市場シェア1位の梨やダイコン。また、「松茂美人」や「阿波おど梨」「うず潮ブランド」でブランド力とスケールメリットを生かし市場や量販店へのアピールを強めています。

共同購入・共同選果を強化 生産者の負担減で安定出荷

合併で規模が大きくなり可能となったのが、共同購入・共同選果です。購買事業

では肥料などを大規模に共同で購入することで、組合員へ安価で供給できるようになりました。

また高齢化や担い手不足を原因としたさまざまな問題を浮上する中で、平成30年5月にダイコンの共同選果場を開設しました。共同選果場1カ所に洗浄・葉切り・箱詰めと収穫後の作業を集約することで、生産者の負担軽減を図り、さらに一定のロット数を常に確保することで品質の均一化や安定出荷につなげ、徳島県産ブランドの評価をさらに高めていきます。

農産物直売所「えがお」開店 開業予定の道の駅とスクラム

令和元年8月、農産物直



ダイコンの共同選果場の外観(上)と選別ライン

JA大津松茂 (徳島県)



「えがお」のシンボルマーク。直売所の外壁にも描かれている

売所「えがお」を開店しました。直売所事業は、事業改革・自己改革の一環として「農家所得の向上」「地域農業の振興」そして「地域社会への貢献」を目的に計画し、約3年の準備期間を経て始まりました。「いいもの、いいあじ、いいえがお」「いいものだけを、丹精込めて…」をスローガンに、地元特産農産物「なると金時」「レンコン」「梨」「ダイコン」を中心に、地域をはじめ徳島県の農産物や加工品などを販



農産物直売所「えがお」の外観(上)と店内



売しています。

隣接地には鳴門市の道の駅が開業予定で、JA大津松茂地区が四国の玄関であるという印象や機能が強化されます。官民が連携を取り魅力あふれる地域づくりに積極的に参画する中で、チャンスを見逃すことなく地元特産物を広くアピールしていきます。

概要	平成31年3月31日現在
正組合員数	1179人
准組合員数	976人
職員数	57人
販売品取扱高	53億8千万円
購買品取扱高	8億7千万円
貯金残高	311億3千万円
長期共済保有高	714億5千万円
主な農産物	カンショ「なると金時」、レンコン、梨、ダイコン

「高知県産しょうがの ドライジンジャー」新発売

関東圏のファミリーマートで取り扱い

全農は「日本美果めぐり 高知県産しょうがのドライジンジャー」を開発し、1月20日、関東圏のファミリーマートで発売しました。【くらし支援事業部】

これまでもファミリーマートでは「長野県産りんごドライフルーツ」や「和歌山県産はっさくドライフルーツ」など、産地を指定したドライフルーツを発売しています。

全農は、今回のシリーズ商品の発売を通じて、産地の知名度をアップするとともに、厳選した国産農産物の魅力を消費者にお伝えしていきます。

商品概要

- 商品名:日本美果めぐり 高知県産しょうがのドライジンジャー
- 内容量:20g ●希望小売価格:213円(税抜き) ●発売日:令和2年1月20日(月)
- 発売店舗:関東圏内のファミリーマート(一部取り扱いのない店舗もございます)



全農 ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

パーソナリティー 安田レイさん

ワンマンライブチケット 5組10名様にプレゼント!

全農が提供するラジオ番組「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」のパーソナリティーを務める安田レイさんのワンマンライブのチケットを5組10名様にプレゼントします。

ご希望の方は、はがきまたはEメールでご応募ください。

【広報・調査部】

■名称: LIVE 2020「Invisible Stars」Supported by TOKYO FM「COUNTDOWN JAPAN」

■日時: 2020年2月7日(金) OPEN 18:45 / START 19:30

■会場: EX THEATER ROPPONGI(東京都港区西麻布1-2-9)

■応募方法:

(1)はがきに住所、氏名、電話番号、メールアドレスをご記入のうえ、〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農広報・調査部 JA全農ウィークリー「安田レイさんライブチケットプレゼント」係までお送りください。(令和2年1月24日(金)消印有効)

(2)Eメールに住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、zz_zk_koho@zennoh.or.jp までお送りください。(令和2年1月27日(月)締め切り)

■当選発表: 当選された方に全農からご連絡いたします。

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

ライブについて
詳しくはこちら



JAタウン ショップ紹介

JAタウン |

検索
クリック

JA大湯村(秋田県)



JAタウンは
こちらから



パンキンパイ(20個入り×1箱)
……3680円



ご紹介する「パンキンパイ」は、大湯村特産のカボチャ「くり大将」100%のあんをバターたっぷりのパイ生地で包み込み、ひとつひとつ丁寧に焼き上げた甘さ控えめな手作りパイです。

有名テレビ番組で何度も取り上げられるなど秋田県を代表するお土産として、お子さまからご年配の方まで幅広い世代に人気の商品です。人気のヒミツは、親しみやすいパッケージと素朴な味!

一口食べると自然の甘みが口の中いっぱい広がります。

ご家族の団らんのひとときに、親しい方への贈り物に、ぜひご利用ください。

この他にもJAタウンでは、大湯村産「あきたこまち」や、大湯村産のお米を米粉にし、その米粉の皮で作ったグルテンフリーの「米粉の皮で包んだ餃子」も好評販売中です。この機会にぜひご賞味ください。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <https://www.ja-town.com>
▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。



『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはこちら



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。